

# ジェンダースタディーズ

# 生

# 理

監修：宋美玄

丸の内の森レディースクリニック院長、  
社団法人ウィメンズヘルスリテラシー協会 代表理事

**対象** 小学校高学年、中学校、高等学校、大学、  
各種教育機関等

**価格** 各巻 49,500円(税抜45,000円) (通常価格)  
各巻 19,800円(税抜18,000円) (小・中・高校特別価格)

**時間** 各巻約20～30分

バリアフリー字幕版  
選択可

DVD  
全3巻

## ①生理ってなに？

～はじめて学ぶ生理のこと～

## ②労働と生理

～ハラスメントを考える～

## ③社会と生理

～これからの社会ができること～

2023年1月発売予定

## 男女共に「生理」について学び、話し合う映像教材

女性の日常生活に大きく影響を与えることもある「生理」。多くの女性が生理痛やPMS（月経前症候群）などに悩まされていますが、男性は生理について無理解な場合も多く、女性でも生理痛がない人の中にはその苦痛を理解していない人も多くいます。生理は病気ではないため、声を上げにくく、生理の話題そのものがタブー視される風潮も根強く残っており、そうした現状を背景としたハラスメントも少なからず存在します。

本シリーズは単に体の仕組みとしての生理を解説するにとどまらず、男女が分け隔てなく社会において活躍するために、生理をどのように理解し、またどのような支援を行っていけばいいかを考える映像教材です。知識学習の教材として視聴できるのはもちろん、学校や企業、公共機関など社会の様々な場面において、実践的な取組につながる多くのヒントを得ることができる内容です。



※制作中のため、タイトル、内容など変更の可能性がございます。



## 「まずは一步、知ることから始めてみましょう」

日本では様々な理由から諸外国に比べ義務教育～高校卒業までの性教育がとて遅れているので、生殖や生理、性に関する知識や人権意識が低いまま社会に出る構造になっています。また、一度社会に出た後は、知識をアップデートする機会が与えられることはなく、各個人が情報を取りに行かなくてはなりません。そして、巷にあふれる情報は、必ずしも正しいものではありません。むしろ、玉石混淆の「石」の方が多く、情報の裏には効果が期待できない商品や、非科学的なカルトに近い存在があったりします。性や生殖に関する知識、とりわけ女性のほとんどが当事者となる「生理」に関するものは、自分らしく人生を生きていくにあたって、必須のライフスキルです。生理痛やPMSなど妊娠の準備や女性ホルモンの変動によって起こる不調に対し、色々な選択肢があることを知らないばかりに「ふりまわされる」しか選べずにいる女性が多いことは、個人のQOL(生活の質)を下げてだけでなく、社会全体での労働生産性が下

がるなどの損失も無視できなくなっています。

このシリーズは男女ともに知っておいてほしい必須知識や社会背景についてわかりやすく学ぶことができる映像教材です。学校や職場などで学ぶことによって意識や風土が変わっていくことが期待できます。まずは一步、知ることから始めてみましょう。

### 宋美玄

丸の内の森レディースクリニック院長、  
社団法人ウイメンズヘルスリテラシー協会  
代表理事



## ①生理ってなに? ～はじめて学ぶ生理のこと～

450V012S

初潮を迎える年齢は10～14歳頃と言われていますが、その年代の子どもたちは、自身の体の変化に大きな不安を感じることも多く、正しい知識と周囲の適切な支援が求められます。

この巻では、主に初潮を迎える年代に向けて、生理の仕組みや体の変化、そしてそれに関する悩みについて考え、安心して自分の体と向き合うことができるまでをドラマで描きます。特に思春期の子どもたちが直面しやすい様々な悩みを取り上げ、生理がきている子もまだきていない子も、さらに男の子も共に学び考えていきます。また、生理を迎えた思春期の女の子と男の子との関わりかたにも注目し、お互いの体の仕組みとその違いについても理解を深めます。学校の授業において男女共に視聴し、生理について学ぶことのできる映像教材です。



## ②労働と生理 ～ハラスメントを考える～

450V013S

女性にとって生理は切っても切れないものであり、ときには仕事にも影響を及ぼすことも少なくありません。しかし生理に対する世の中の理解はまだまだまだ足りないのが現実です。職場では生理休暇という制度が法律で認められているものの、その取得率は1%にも届きません。生理の話題はタブー視される風潮は根強く、自分でも気づかないうちに人を傷つけることもあり、それがハラスメントに繋がるケースも少なくありません。

この巻では、ドラマ形式のケーススタディを通して、職場内で起こりうる「生理」にまつわる様々な事例を取り上げ、だれもが働きやすい職場にするにはどうしたらいいのかを考えます。職場のみならず、学校や公共団体等、様々な場において活用できます。



## ③社会と生理 ～これからの社会ができること～

450V014S

「生理痛やPMSは我慢するしかない…」と生理の悩みや問題について、諦めている女性は少なくありません。しかし、生理に関する知識を身につけるのはもちろん、生理の負担を軽減するための商品やサービスを知り、そして医療との適切な関わりを持つことで、もっと快適に過ごすことができるのです。

さらに、生理と向き合わなければならないのは、女性だけではなく、男性も、女性の負担を知っておくことで困ったときに寄り添うことができ、誰もが暮らしやすい社会づくりにつながっていきます。

この巻では、様々な年代の男女と専門家を交えたトークを通して、生理の仕組みや現代社会における生理に関する医療、サービス等について学び、男女共に生理を自分ごととしてとらえ、どのような取組ができるのか考えます。



2022.10SB

企画・発売



株式会社 サン・エデュケーショナル

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-22-8 ユービズ渋谷道玄坂 9F

TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674

<http://www.sun-edu.co.jp>

お問い合わせ



株式会社 教配

URL: <http://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア

TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785